

年間教授計画 2024年度（4月～2月）

実務経験のある教員等による授業

科目	対象	担当	教科書	授業数	年間授業時間
画像基礎	クラス: 1年 J組 学科: クリエイター科 コース: 全	石橋	Photoshopよくばり入門	4 時間/週	120 時間

授業概要	adobe製のPhotoshopというソフトを使った画像処理技術を学びます。
最終到達目標	画像の加工や補正、イラスト制作など多彩な業界で支持されているソフトで、他の授業でも使用されます。1年時のみの専門授業なので確実にマスターしましょう。
実務経験の活用方法	ひとつのテーマのもと、思い浮かぶイメージを提示できるビジョンとして即座に具体的な形にできる。そしてそれをいくつかのバリエーションに展開させ、クライアントの要望と照らし合わせる。これらをスピーディーに行うためにも、デジタルを使った技術は欠かせないツールである。

月	週	単元	内容および授業方法					
前期 (4月～9月)	1	基本1	基本1の内容は「講義」→「練習課題」を行います。評価の対象度は高くありませんが「期限内の提出」は重要視します。					
	2	練習1 「画像をあつかってみる」	大まかな説明 ・『画像処理』とは？					
	3	練習2 「色とサイズ」	・Photoshopでなにができるの？					
	4	練習3 「選択範囲とは」	・画像データの構成・・・ピクセルとは？ 画像サイズとは？ 3原色とは？・・・など					
	5	練習4 「かんたんな色調補正」	・カラー設定					
	6	練習5 「保存形式」	・画像のサイズと解像度(1) ・選択範囲1(線による作成) ・書類を開く、閉じる、保存する、複製を作る					
	7	試験1	試験1の内容は「実技試験」です。目的は基本1の知識を高めるためです。(評価の対象になります)					
	8	実技試験1 「出力サイズと解像度の確認」	・出力サイズと解像度を理解して、画像データの正確な扱い方に反映させる。					
	9	実技試験2 「選択範囲の操作の確認」	・選択範囲の操作方法を理解して、それを画像の正確な扱い方に反映させる。					
	10							
	11	基本2	基本2の内容は「講義」→「練習課題」を行います。評価の対象度は高くありませんが「期限内の提出」は重要視します。					
	12	練習1 色の3原色と各	・RGBとCMYK					
	13	練習2 「色調補正を詳しく知る」	・色調補正(2)					
	14	練習3 レベル補正	・画像のサイズと解像度(2)					
	15	練習4 トーンカーブ	・選択範囲2(面による作成)					
後期 (10月～2月)	1	練習5 マスク	・マスクの機能を知る(レイヤーマスク、アルファチャンネル、クイックマスクなど)					
	2	試験2	試験2の内容は「実技試験」です。目的は基本2の知識を高めるためです。(評価の対象になります)					
	3	実技試験1 「女性の肌を美しく(仮)」						
	4	実技試験2 「正確な選択範囲の作成と保存」	・正確で美しい選択範囲を作り、それを保存することができるか？					
	5	実技試験3 「マスク処理」	・画像を消すのではなく、マスク処理で正確に美しく隠すことができるか？					
	6							
	7	応用1	ここからは、これまで学んできた事の応用(1連の作業のながれを1つとらえて)を学びます。					
	8	練習1 「色調補正→サイズ変換→出力」	ある画像を、補正して出力するまでに、複数の行程が必要になります。それらを1つの流れとして学びましょう。					
	9	練習2 「アンシャープマスク→出力」	・アンシャープマスクとは？					
	10	練習3 「バッチ処理」	・バッチ処理(アクション)とは？					
	11	実技試験1	(実技試験1内容) ・受け取った画像を、補正からサイズ変更して出力するまでのながれを1つの作業としておこなえるか？					
	12		・印刷時のインクのにじみによりボケが生じるが、それらを上手く処理できるか？					
	13	実技試験2	(実技試験2内容) ・同一環境で撮影された複数の画像を効率的に短時間で処理できるか？					
	14	実技試験3	・時間に余裕があれば、「表現による作品」の制作を行いたい					
	15	応用2(実施するかは未定) 『コラージュ作品』(仮)						
成績評価方法	項目 ※1	授業内試験	小テスト	課題内容	出欠状況	授業態度	その他(提出状況)	
	割合	前期	20%	10%	30%	10%	10%	20%
		後期	20%	10%	30%	10%	10%	20%
備考 ※2	1年時だけのPhotoshopの専門授業です。必ずマスターしましょう。							

※1 授業内試験:期間内の総まとめの試験/小テスト:単元ごとのテスト等/課題内容:課題提出および課題の出来具合
その他:()に具体的内容を記載。(例)外部実習評価

※2 備考については、資格取得に対する加点、学習に当たっての留意事項等、上記以外の項目に記載すべきものがある場合に記入。